

■欧州：EU15カ国は京都議定書の目標を達成できる見通し

欧州環境庁（EEA）は2010年10月12日、京都議定書に署名したEU15カ国（2004年以前の加盟国）は2012年までの温室効果ガス削減目標を達成できる見通しであると発表した。この15カ国は2012年までに1990年比で温室効果ガスの8%削減を約束しているが、欧州委員会では京都議定書の第1基準年（2008～2012年）の実績は-14.2%になると予測している。ただし、EEAは2012年までに全体目標は達成できたとしても、オーストリア、デンマーク、イタリアにおいては一層の努力が必要であると指摘している。また、EU27カ国の2020年までの全体目標である1990年比20%減を達成するためには、EU-ETSが適用されない運輸、および家庭用ヒーティング部門での削減に向けた対応策が今後の課題となっているとしている。